



全日本学生柔道優勝大会三回戦 筑波大戦で小内刈を決めた老野。(大山航平撮影)



同大会二回戦近大戦の組み手争い。(長島優希撮影)

男子柔道部主将の老野祐平選手(健康医療スポーツ学部4年)が、9月下旬に中国・杭州で開催されるアジア競技大会に日本代表の一員として出場することが内定した。老野選手は、日本オリンピック委員会(JOC)からオリンピックでの活躍が有望視される「オリンピックネクスト強化指定選手」にも選ばれており、本学初のオリンピック誕生に期待が高まる。アジア大会の代表は、全日本柔道連盟の強化委員会

が選び、JOCの認定を経て正式決定となる。老野選手は日本代表として81キログ級に出場する。老野選手は、昨年1月のポルトガルでの国際大会で3位となり、5月の全日本強化選手選考会、10月の全日本学生体重別選手権で優勝。今年4月の全日本選抜体重別選手権を制するなど快進撃を続けている。今年3月には、文武両道に秀でた選手に贈られる大学スポーツ協会(UUNVAS)のマン・オブ・ザ・イヤー(最優秀選手)にも選ばれている。老野選手は「私の目標はオリンピックで優勝することです。アジア大会で優勝しないとオリンピックは見えてこないのです。アジア大会で絶対に優勝し、来年のパリ五輪優勝という目標につなげたいと思います」と抱負を語っている。(関連記事2面)(比嘉理貴)



同大会一回戦駒大戦で背負い投げを決める。(比嘉理貴撮影)

が選び、JOCの認定を経て正式決定となる。老野選手は日本代表として81キログ級に出場する。老野選手は、昨年1月のポルトガルでの国際大会で3位となり、5月の全日本強化選手選考会、10月の全日本学生体重別選手権で優勝。今年4月の全日本選抜体重別選手権を制するなど快進撃を続けている。今年3月には、文武両道に秀でた選手に贈られる大学スポーツ協会(UUNVAS)のマン・オブ・ザ・イヤー(最優秀選手)にも選ばれている。老野選手は「私の目標はオリンピックで優勝することです。アジア大会で優勝しないとオリンピックは見えてこないのです。アジア大会で絶対に優勝し、来年のパリ五輪優勝という目標につなげたいと思います」と抱負を語っている。(関連記事2面)(比嘉理貴)



内股を決める野村選手(大山航平撮影)



優位に試合を進める浦選手(長島優希撮影)



内股を決める野口選手(大山航平撮影)

男子柔道部

全日本学生柔道優勝大会 男子ベスト16も 宿敵筑波の前に涙



全日本学生柔道優勝大会2回戦近大戦に5-0で勝利した本学7人(長島優希撮影)

団体戦で大学日本一を争う全日本学生柔道優勝大会が6月24・25日に、東京九段下の日本武道館で開催された。男子の部で本学は、1回戦で駒沢大に5-1で快勝、続く2回戦では同大会優勝経験を持つ強豪校近

畿大を5-1で撃破したが、ベスト8入りをかけた3回戦で関東学生連盟の宿敵筑波大に4-1で敗れた。男子の部には、全国の地区予選を勝ち抜いた62校が出場。7人1組で対戦した。

創部4年目で、初めて全学年が揃った本学チームは、1回戦の対駒沢大戦では、先鋒のカフレ・ジュリアーノ選手(健康医療スポーツ学部1年)が相手の反則で勝利すると、次鋒の梶原大裕選手(同学部4年)、五将の浦宜之選手(同学部4年)、中堅の野村柊太選手(同学部3年)、三将の老野祐平選手(同学部4年)が次々と一本勝ちを決めた。勢いに乗った本学は2回戦でも、先鋒の浦次鋒の老野、五将の野口綱太(同学部3年)、中堅の菊地鷹(同学部1年)が相次いで勝ち、ベスト16(3回戦)に進出した。3回戦では、筑波大に対して、中堅の老野が一本勝ちしたが及ばなかった。

5人制団体戦で戦った女子の部では、本学は1回戦で今大会の優勝校・環太平洋大と対戦し、中堅の田嶋海佳選手(同学部3年)が引き分けに持ち込んだものの、力の差を見せつけられた。

1部リーグは城西国際大や明海大など10校が参加している。チームを率いる高嶋建吾主将(健康医療スポーツ学部4年)は「とにかく

男子サッカー部

リーグ戦上位を

男子サッカー部は今シーズン、千葉県大学リーグで1部に昇格した。春期第8節終了時点で、1勝5敗2分け、10チーム中8位で、秋期に上位浮上を目指す。創部は1987年。1部昇格を受けて、大学の準強化部に指定された。部員数は27人。千葉キャンパスを拠点に、「凡事徹底」をスローガンに練習に汗を流している。

競技以外でも、地域・社会貢献活動にも取り組んでおり、地元市原市のサッカー愛好者で作る「ボンズ市原」のゲーム運営を手伝っている。



男子サッカー部提供

男子バスケットボール部

秋のリーグ戦で雪辱へ

関東大学リーグで昨季、3部優勝を果たし2部に昇格した本学チームは、4月、シーズンの開幕を告げる第72回関東大学バスケットボール選手権に出場した。しかし、4月22日に本学池袋キャンパスで行なわれた2回戦で東京成徳大に76-94で敗れた。優勝は日体大で21年ぶり21回目。続く新人戦でも、6月5日の1回戦明治学院大との試合で82-109で敗退した。シーズン後半にはリーグ戦を控えており、雪辱を期す。

対東京成徳大戦は、試合開始直後から得点を重ねられ、前半を40-47と7点ビハインドで終了。後半も東

京成徳大の攻撃を止めることができず、第3ピリオドには13-28と大量リードを許すなどゲームの流れを掴むことが出来なかった。大会はトーナメント形式で、関東大学バスケットボール連盟に登録する86校が参加。4月15日の1回戦対立正大戦で154-44と大勝していた。



4月22日対東京成徳大戦、ディフェンスと駆け引きをする1番木村遥音選手(鹿子嶋天良撮影)

女子サッカー部

前半戦終えて3位



女子サッカー部提供

4月22日に開幕した第37回関東大学女子サッカーリーグ1部は7月1日の第11節で前期の日程を終了した。本学は第11節終了時点で7勝3敗1分け、3位となっている。

部員48人を率いる古賀花野主将(健康医療スポーツ学科4年)は、「私達は昨年、一昨年のインカレで、2年連続ベスト16と悔しい思いをしました。この2年間成し遂げられなかった日本一を今年こそ大好きな仲間、監督、スタッフと共に掴み取りに行きます」と語っている。

1部は、本学のほか東洋大、山梨学院大、早稲田大、神奈川大、日本体育大、東京国際大、日本大、十文字学園女子大、筑波大、大東文化大、国際武道大の計12校で構成。前期、後期(7月23日〜10月29日)と分けて、2回戦総当たり方式で、勝ち点による順位を争う。勝者に勝ち点3、引き分け1点が与えられる。上位8チームは、年末年始の全日本大学選手権出場権を得る。

前期女子サッカー順位表

Table with 9 columns: 順位, チーム名, 勝点, 試合, 勝, 分, 負, 総得点, 総失点, 得失差. Lists 12 teams and their performance statistics.

前期女子対戦成績

Table with 4 columns: 節, 対戦相手, 結果, 日程. Lists 11 matches with scores and dates.

硬式野球部

地元の子供らとゴミ拾い



地元子ども会とゴミ拾いに参加した野球部員たち(硬式野球部提供)

で、毎週土曜日に近隣の清掃活動に取り組み本学野球部員の姿に感銘を受け、清掃活動を通じた子ども会や地域の人々との交流の提案が寄せられた。

当日は、野球部員10人が参加、子ども会の保護者も加わり、街のゴミ拾いなどに取り組んだ。この活動は、今年度内にさらに2回予定されている。

子ども会役員で息子と参加した藤田真美子さんは、「息子は野球部に所属しており、憧れの野球部のお兄さんたちと話ができた、と大喜びでした」と話している。(比嘉理貴)

本学硬式野球部が5月6日、本拠地千葉キャンパスの地元子ども会と清掃活動に汗を流した。

キッズアヴェニューセカンドステージ(千葉県市原市ちはら台西6丁目)の子ども会(佐々木未来会長)



プロデビューした高橋さん(編集部撮影)

高橋さんプロデビュー

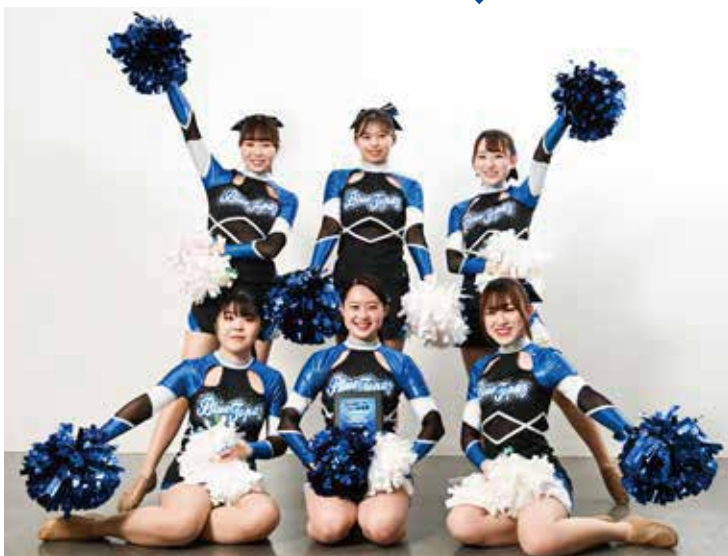
賞にも輝いている。卒業直前にデビューの予定だったがコロナ禍で延期となっていた。

デビュー戦は東京・後楽園ホールで行われた東日本新人王戦4回戦。階級はスーパーフェザー級で、4ラウンドの激闘の末、引き分けだった。

本学人文社会学部人間文化学科グローバルコミュニケーションコースを2022年3月卒業した高橋泰征さん(23)が6月9日、プロボクサーとしてデビューした。

高橋さんはもともとキックボクシングをしていたが、在学中にボクシングに転向。2年生後期の英国・ダラム留学中も、勉学の傍らダラム大ボクシング部でトレーニングを続け、帰国後の3年秋、プロテストに合格した。ボクサーを目指したきっかけを書いた投書は、読売新聞の投書欄で月間最優秀

キャンパスの風



2位になったメンバーたち(比嘉理貴撮影)

準強化部昇格へ一丸となって練習

チアダンス部Blue Toppinは今年2月18日、東京・立川市の「アリーナ立川立飛」で開催されたチアダンスの予選大会「United Spirit Association, Japan USA」に初出場し、大学編成D部門Smallで2位入賞を果たした。副代表の深谷愛里(人文社会学部2年)さんは「大会前は実習や授業でなかなか集まらず、気持ちが悪まるといってしまいましたが、全国大会出場を目標に練習してきた」と語る。

創部は、2018年。大会以外でも、オープンキャンパスや学園祭、大学のスポーツチームの応援など様々な活動を行ってきた。昨年10月には東京・国立競技場でサッカーJリーグの下部組織と位置づけられる日本サッカーリーグ(JFL)のクリアソン新宿対鈴鹿ポイントゲッターズの試合で、ハーフタイムショーに出演してもらった。

今年新たに新入生5人が加わり部員11人となり、準強化部昇格の条件を満たした。今後、昇格に向けて強化に励む。深谷さんは、「新入生も加わり、それぞれが試行錯誤しながらもチーム力を高め、同じ目標に向かって頑張っていきたいと思います」と笑顔を見せてくれた。(中嶋めぐ)



対大正大戦二回戦で2回先制の2点本塁打を放つ山本(大) (安達撮影)



4回裏無死3塁、中島隆(中央)のスライズバントが成功し3走の曾場が生還。5点目を記録(野崎浩洋撮影)

3部リーグ順位

順位	試合数	勝ち数	負け数	勝ち点	勝率	
1	大正大	11	10	1	5	.909
2	帝京平成大	12	8	4	4	.667
3	学習大	11	6	5	3	.545
4	成蹊大	13	5	8	1	.385
5	順大	14	5	9	1	.357
6	一橋大	11	2	9	1	.182

春季チーム成績

打率	.275
得点	61
本塁打	7
打点	53
盗塁	11
四死球	51
犠牲飛	29
失策	16
防御率	2.55
投球回	106
自責点	30

3部リーグベストナイン

投手	大園洸人	(学習大)
捕手	中島隆介	(帝京平成大)
一塁手	福岡佑度	(大正大)
二塁手	紅林大斗	(大正大)
三塁手	前田幸輝	(帝京平成大)
遊撃手	大石高志	(帝京平成大)
外野手	大竹隼平	(大正大)
	安西京十	(学習院大)
	曾場大雅	(帝京平成大)
指名打者	田中慎之介	(大正大)

3部対戦成績 (太字が本学)

	大正大	学習大	成蹊大	順大	一橋大
1回戦	6-10	7-4	0-4	6-2	5-2
2回戦	7-6	0-2	0-1	13-2	1-8
3回戦			3-8	2-3	

編集後記

TEIKYO HEISEI Sports Journal vol.4をお届けします。創刊号発行から1年となりました。新入部員9人が加わり新体制となったメディア部から、本学強化各部の活躍をお伝えします。フロント面は、柔道部81キログ級で五輪出場が期待される老野裕平主将に焦点を当てました。9月のアジア大会で優勝し、パリ五輪出場に弾みとして欲しいと思います。夢の実現に向けて、応援して行きましょう。メディア部がこの春注目していた硬式野球部は2位に終わり、2部昇格は残念ながら持ち越しとなりましたが、原克隆新監督・新体制で、秋の悲願達成にチーム力強化が望めます。(比)

悲願達成は秋以降に
 東都大学野球春季3部リーグ。本学は、5月27、28日の対学習院大戦に連勝して全日程を終えた。最終戦績は、8勝4敗、勝ち点4。優勝は大正大で、同大は入れ替え戦で2部最下位の東京農大を破り、2部復帰を果たした。本学は大正大に2敗にとどまり、2部昇格は秋季以降に持ち越しとなった。

3部は、本学のほか、学習院大、順天堂大、大正大、一橋大、成蹊大の計6校による総当たり戦で、2戦先勝で勝ち点1となる方式で行なわれた。

本学は、開幕初戦の第1週対成蹊大戦1回戦で黒星を喫したが、その後は態勢を立て直し、勝ち点を重ねた。第3週の大正大戦では、1回戦で敗戦。2回戦では、7回まで6-2とリードしながら、点差を守り切れず、9回表に4点を許し、悔しい敗戦となった。

曾場大雅主将(健康医療スポーツ学部4年)は春季リーグ戦を振り返って、「追い込まれてからの粘りやチャンスでの一本が出ずに負けた開幕戦がチームの弱さを物語っている」としたうえで、「追い込まれてからの粘り、チャンスでの一本が打てる勝てるチームとして秋に臨みたい」と決意を新たにしている。

本学硬式野球部は、1990年の創部以来千葉県大学野球連盟に所属していたが、昨年1月、東都大学野球連盟に新規加盟。春の4部リーグ、秋の3部リーグを連覇した。しかし、秋の入れ替え戦では2部最下位の国士館大相手に第3戦までもつれ込んだ末、涙を飲んでいる。今年度は、原克隆氏(前中部学院大野球部監督)を新たな指揮官に迎え、悲願の2部昇格を目指している。

東都大学リーグ 3部優勝に届かず

新入部員募集中! 私たちと本学のスポーツ盛り上げませんか?

「紙面を賑やかにします!」
 「選手への熱い応援をお願いします!」
 「紙面を賑やかにします!」
 「選手への熱い応援をお願いします!」
 「紙面を賑やかにします!」
 「選手への熱い応援をお願いします!」
 「紙面を賑やかにします!」
 「選手への熱い応援をお願いします!」
 「紙面を賑やかにします!」
 「選手への熱い応援をお願いします!」
 「紙面を賑やかにします!」
 「選手への熱い応援をお願いします!」
 「紙面を賑やかにします!」
 「選手への熱い応援をお願いします!」

Teikyo Heisei University
 メディア部

入部希望者は代表者まで 代表者：比嘉理貴 321D23157@thu.ac.jp